

主な文学賞受賞作品

(2008年4月～10月)

新潟県立図書館で所蔵している図書の中から、文学賞を受賞した
作品をご紹介します。ぜひ、本選びのための参考としてください。

新潟県立図書館作成

2008年10月末現在

* 表紙画像は、出版社の許諾が得られたものを掲載しています

小説編

2008年4月



大江健三郎賞

大江氏作家生活50周年、講談社創業100周年を記念し、平成19年に創設されました。選考は大江健三郎氏が行い、可能性や成果をもっとも認めた作品に贈られます。選評の代わりとして大江氏と受賞作家との公開対談が行われ、雑誌『群像』に掲載されます。

『わたしたちに許された特別な時間の終わり』



岡田利規 / 著 新潮社 2007年

請求記号 (913.6 / O38)

2005年に岸田戯曲賞を受賞した「三月の5日間」の小説化作品と「わたしの場所の複数」の二編を収録。著者初の小説集です。



2008年本屋大賞 **書店員の投票だけで選ばれる賞です。**

「本屋大賞」は、新刊書の書店（オンライン書店も含む）で働く書店員の投票で決定するものです。過去一年の間、書店員自身が「面白かった」「お客様にも薦めたい」「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票します。

『ゴ-ルデンスランバ - A MEMORY』



伊坂幸太郎 / 著 新潮社 2007年

請求記号 (913.6 / I68)

新首相が凱旋パレード中に暗殺された。首相暗殺犯の濡れ衣を着せられとまどう青柳だが、警官に銃を発砲され……。
はたして、この陰謀から逃げ切れるのか。



川端康成文学賞

故川端康成氏の偉大な業績を長く後世に伝えるために、財団法人・川端康成記念会により昭和48年に創設されました。日本人としてはじめて故人の受けた「ノーベル文学賞賞金」を基金として、最も完成度の高い短篇小説に与えられる賞です。

「蛹」(『切れた鎖』所収)



田中慎弥 / 著 新潮社 2008年

請求記号(913.6 / Ta84)

「海松」稲葉真弓(著)

(未刊行)「新潮」2007年2月号掲載



新田次郎文学賞

文学賞設立を強く願っていたという、故新田次郎氏の遺志を継ぎ、遺産の一部を基金として財団法人・新田次郎記念会により昭和56年に創設され、翌年には第1回受賞が行われました。

『頼山陽』上・下巻

見延典子 / 著 徳間書店 2007年

請求記号(913.6 / Mi 45 / 1, 2)



歴史書『日本外史』を世に出し、幕末の歴史を変えた男・頼山陽。父・春水に反抗し、父を超えるべく『日本外史』執筆に心力を注ぐ。また、それを支えた2人の女性の生き様をも描いた作品です。



松本清張賞

推理小説から時代小説まで、幅広いジャンルの作品を生み出した松本清張氏の業績を記念して創設され、平成6年に第1回受賞が行われました。財団法人・日本文学振興会により公募の長篇小説に与えられます。

『一朝の夢』

梶よう子 / 著 文芸春秋 2008年

請求記号(913.6 / Ka 22)



朝顔を育てることが生きがいの同心・中根興三郎はある男との出会いを機に、幕末の政情に巻き込まれることに……。

2008年5月



伊藤整文学賞 小説

小樽市出身で、小説・評論・詩など多方面に活躍した故伊藤整氏の業績を記念して、没後20年(1989年)を契機に平成2年に創設されました。その年度に発表された小説、評論から選出されます。

『蟹と彼と私』 荻野アンナ / 著 集英社 2007年

請求記号(913.6/O25)



食道がんに冒された最愛のひと。あなたの命と、私の気力、どちらが先についでしまうのか……。



太宰治賞

昭和39年に筑摩書房が創設した小説の新人賞ですが、昭和53年(第14回)で中断を余儀なくされました。平成10年、太宰治没後50年を機に、筑摩書房と三鷹市の共同主催という形で復活しました。

「ロミオとインディアナ」 永瀬直矢(著) (未刊行)

『太宰治賞 2008』所収 請求記号(913.6/C44/08)



本格ミステリ大賞 小説部門

北村薫、綾辻行人、加賀美雅之、有栖川有栖、歌野晶午、太田忠司などミステリを愛する作家(2008年7月現在 会員140名)と関係団体でなる「本格ミステリ作家クラブ」が主催する推理小説の文学賞です。平成13年に第1回受賞が行われました。

『女王国の城』 装幀: 大路浩実 有栖川有栖 / 著 東京創元社 2007年

請求記号(913.6/A76)



急成長している宗教団体の聖地、そこに向かったと思われる部長を追ってアリスらは総本部を訪れるが……。前作『双頭の悪魔』から15年ぶり、待望の江神シリーズ書き下ろし第四編。



山本周五郎賞

財団法人・新潮文芸振興会により新潮社と縁が深かった山本周五郎を記念して昭和62年に創設されました。すぐれた物語性を有する小説に与えられる賞です。

『ゴ・ルデンスランバ - A MEMORY』

伊坂幸太郎 / 著 新潮社 2007年

請求記号 (913.6 / I 6 8)



新首相が凱旋パレード中に暗殺された。首相暗殺犯の濡れ衣を着せられとまどう青柳だが、警官に銃を発砲され・・・。

はたして、この陰謀から逃げ切れるのか。

『果断』

今野敏 / 著 新潮社 2007年

請求記号 (913.6 / K o 7 5 / 2)



『隠蔽捜査』シリーズ第二弾。前作「隠蔽捜査」ではキャリア警察官として警察庁で活躍した竜崎だったが、今回は息子の不祥事で左遷され・・・。



三島由紀夫賞

昭和62年、財団法人・新潮文芸振興会により新潮社に縁が深い三島由紀夫を記念して「山本周五郎賞」とともに創設されました。新鋭の作品に与えられる賞です。

『切れた鎖』

田中慎弥 / 著 新潮社 2008年

請求記号 (913.6 / Ta84)



母、娘、孫娘の三人が暮らす桜井家は代々続く旧家だが、屋敷の裏にある教会に対する憎悪と嫌悪を抱えていて・・・。



日本推理作家協会賞 長編／連作短編集部門

昭和22年「日本探偵作家クラブ賞」として設立されましたが、昭和38年に主催者が日本推理作家協会へと改組されたのを機に、第16回より改称されました。

『果断』 今野敏 / 著 新潮社 2007年

請求記号(913.6/Ko75/2)



『隠蔽捜査』シリーズ第二弾。前作「隠蔽捜査」ではキャリア警察官として警察庁で活躍した竜崎だったが、今回は息子の不祥事で左遷され…。



江戸川乱歩賞

江戸川乱歩が還暦記念に提供した寄付を基金として昭和29年に創設されました。長編推理小説に与えられる新人賞で受賞作は講談社から刊行されます。

『訣別の森』(「猛き咆哮の果て」より改題)

末浦広海 / 著 講談社 2008年

請求記号(913.6/Su19)



取材ヘリが墜落した。ドクターヘリの機長・榎村は救助に向かい、そこでかつて愛した女性を助ける。ところが、彼女は入院先から忽然と姿を消した…。ロマンあふれるミステリーです。

『誘拐児』 翔田寛 / 著 講談社 2008年

請求記号(913.6/Sh68)



終戦の翌年起こった誘拐事件、けれど子どもは帰ってこなかった。そして15年後ふたたび動き出す事件…。昭和36年を舞台とした推理小説です。

2008年7月



直木三十五賞

通称「直木賞」。故直木三十五氏の名を記念して、「芥川賞」とともに菊池寛により昭和10年に創設されました。芥川賞と並び、一流作家への登竜門として最も権威のある賞とされています。

『切羽へ』

井上荒野 / 著 新潮社 2008年

請求記号 (Y/913.6/I57)



「切羽」とはそれ以上先へは進めない場所のこと。夫を深く愛しているながら、一人の男と運命的な出会いをしてしまった妻の切なく揺れる心を描いた恋愛小説です。



芥川龍之介賞

通称「芥川賞」。故芥川龍之介氏の名を記念して、「直木賞」とともに菊池寛により昭和10年に創設されました。直木賞と並び、新進作家の登竜門として最も権威のある賞とされています。

『時が滲む朝』

楊逸 / 著 文芸春秋 2008年8月

請求記号 (913.6/Y51)



舞台は、天安門事件前夜から北京五輪前夜の中国。二人の中国人大学生の目からみた現代中国と日本の姿を描いた作品です。デビュー作「ワンちゃん」では第138回芥川賞候補にもなりました。今、期待の在日中国人作家です。

2008年8月



谷崎潤一郎賞

中央公論社（現在の中央公論新社）が創業80周年を記念して昭和40年に創設されました。小説・戯曲の中から年度を代表する文学作品が選ばれます。

『東京島』

桐野夏生 / 著 新潮社 2008年

請求記号 (913.6/Ki54)



32人が流れ着いた太平洋の無人の島流れ着いた。女は清子ひとりだけ。いつ助けが来るのか、脱出できるのか…。



中央公論文芸賞

中央公論社（現在の中央公論新社）が創業120周年を記念し、婦人公論文芸賞を発展・継承するかたちで平成18年に創設されました。

『荒地の恋』

ねじめ正一 / 著 文芸春秋 2007年

請求記号 (913.6/N62)



53歳の男が親友の妻と恋に落ちる。田村隆一とその妻明子。そして明子と恋に落ちた北村太郎。荒地派と呼ばれる詩人たちの軌跡を描いた長篇小説です。

2008年10月



柴田錬三郎賞

故柴田錬三郎氏の業績を称えて昭和63年に創設されました。現代小説、時代小説を問わず読者を魅了した作家と作品に贈られます。

『愛に似たもの』

唯川恵 / 著 集英社 2007年

請求記号 (913.6/Y97)



感情に翻弄される8人の女たち。恋や結婚、離婚など生き方に迷い、傷つく20代後半から30代の女性を主人公に、リアルな女性の心理を描いた短編小説です。



親鸞賞

浄土真宗を開いた名僧・親鸞を記念し、本願寺維持財団により平成12年に創設されました。日本人の精神文化や日本文化に根ざした優れた文学作品（小説・戯曲・詩歌など）に贈られます。

『道元禅師』上下 立松和平 / 著 東京書籍 2007年
請求記号(913.6/Ta94/1,2)

日本曹洞宗の開祖・道元の間像と思想に迫る長編小説です。9年にわたり日本と中国の取材し、執筆を続けた著者渾身の作品です。



泉鏡花文学賞

泉鏡花の生誕100年を記念して昭和48年に創設されました。金沢市が主催し、ロマンの香り高い作品に贈られます。

『草すべり その他の短編』 南木佳士 / 著 文芸春秋 2008年
請求記号(913.6/N26)

40年ぶりに再会した女性。高校の同級生だった彼女と浅間山へと登る。生きてきた時間を見つめ、自然と向き合う。山歩きを愛する人だけではなく、働きすぎて疲れた人に読んで欲しい短編集です。

『ぶるうらんど』 横尾忠則 / 著 文芸春秋 2008年
請求記号(913.6/Y77)

何気ない会話から始まる死後の世界での話。「ぶるうらんど」ほか3作品が描き出す不思議な世界へようこそ。日本を代表する現代アーティストである横尾氏の初小説です。

その他（評論・エッセイ・ドキュメントなど）編

2008年4月



大宅壮一ノンフィクション賞

故大宅壮一氏の半世紀にわたるマスコミ活動を記念して、昭和44年に創設されました。新しいノンフィクション作家の誕生の場ともなっています。

『知られざる魯山人』 山田和 / 著 文芸春秋 2007年
請求記号 (751/K i 71)

『あの戦争から遠く離れて 私につながる歴史をたどる旅』
城戸久枝 / 著 情報センター出版局 2007年
請求記号 (289.1/K i 13)



蛇笏賞

俳句の発展に尽くした故飯田蛇笏氏の名を記念して、昭和42年に角川書店によって「遼空賞」と共に創設されました。

『十五峯』 鷹羽狩行 / 著 ふらんす堂 2007年
請求記号 (911.3/T a 31)



エコノミスト賞

昭和35年に毎日新聞社により創設されました。日本経済、日本と世界経済に関連するその年に発表された著書・論文の中から最もすばらしい作品が選ばれます。

『資産価値とマクロ経済』 斉藤誠 / 著 日本経済新聞社 2007年
請求記号 (338/S a 25)

2008年5月



伊藤整文学賞 評論

小樽市出身で、小説・評論・詩など多方面に活躍した故伊藤整氏の業績を記念して、没後20年（1989年）を契機に平成2年に創設されました。その年度に発表された小説、評論から選出されます。

『短歌の友人』 種村弘 / 著 河出書房新社 2007年
請求記号 (911.1/H83)



科学ジャーナリスト賞 (JASTJ 賞) 大賞

日本科学技術ジャーナリスト会議により平成18年に創設されました。科学技術に関する報道や出版、映像などで優れた成果をあげた人が表彰されます。

『毒ガス開発の父ハーバー 愛国心を裏切られた科学者』
宮田親平 / 著 朝日新聞社 2007年
請求記号 (289.3/H11)

科学ジャーナリスト賞 (JASTJ 賞)

『死因不明社会 Aiが拓く新しい医療』
海堂尊 / 著 講談社 2007年
請求記号 (491/Ka21)(Y491/Ka21)



本格ミステリ賞 評論・研究部門

北村薫、綾辻行人、加賀美雅之、有栖川有栖、歌野晶午、太田忠司などミステリを愛する作家(2008年7月現在 会員140名)と関係団体でなる「本格ミステリ作家クラブ」が主催する推理小説の文学賞です。平成13年に第1回受賞が行われました。

『探偵小説の論理学
ラッセル論理学とクイーン、笠井潔、西尾維新の探偵小説』
小森健太郎 / 著 南雲堂 2007年
請求記号 (901.3/Ko67)



日本推理作家協会賞 評論部門

昭和22年「日本探偵作家クラブ賞」として設立されましたが、昭和38年に主催者が日本推理作家協会へと改組されたのを機に、第16回より改称されました。

『星新一 一〇〇一話をつくった人』 最相葉月 / 著 新潮社 2007年
請求記号 (910.2/H92)

『幻想と怪奇の時代』 紀田順一郎 / 著 松籟社 2007年
請求記号 (902/Ki12)

2008年6月



日本自費出版文化賞

平成10年にNPO法人日本自費出版ネットワークにより創設されました。自費出版物に光をあて自費出版の再評価、活性化の促進を目的としています。

『幸福の瞬間 アジアを生きる子どもたち』

佐藤完児郎 / 著 朝日新聞社 (発売) 2007年

請求記号 (748/S a 85)



吉野作造賞

昭和41年に吉野作造を記念して中央公論社(現在の中央公論新社)により創設されました。平成13年度より「読売論談賞」との統合により改称されました。その年の政治・経済・社会関連の出版物のなかですぐれた作品に贈られる賞です。

『日本の統治国家』 飯尾潤 / 著 中央公論新社 2007年

請求記号 (910.2/H 92)



日本エッセイスト・クラブ賞

昭和27年に新人エッセイストの発掘を目的に日本エッセイスト・クラブにより創設されました。

『ルポ貧困大国アメリカ』 堤未果 / 著 岩波書店 2008年

請求記号 (302/T s 94)

『恋と伯爵と大正デモクラシ - 有馬頼寧日記1919』

山本一生 / 著 日本経済新聞出版社 2007年

請求記号 (289.1/A 72)

2008年7月



JCJ(日本ジャーナリスト会議)賞

昭和33年に日本ジャーナリスト会議により創設されました。その年のすぐれたジャーナリズム活動・作品に贈られる賞です。

『死刑 人は人を殺せる。でも人は、人を救いたいとも思う』

森達也 / 著 朝日出版社 2008年

請求記号(326/Mo45)

黒田清 JCJ 新人賞

『あの戦争から遠く離れて 私につながる歴史をたどる旅』

城戸久枝 / 著 情報センター出版局 2007年

請求記号(289.1/Ki13)



講談社ノンフィクション賞

昭和54年に講談社により創設されました。ノンフィクション作品に贈られる賞です。

『あの戦争から遠く離れて 私につながる歴史をたどる旅』

城戸久枝 / 著 情報センター出版局 2007年

請求記号(289.1/Ki13)

『滝山コミュニオン1974』 原武史 / 著 講談社 2007年

請求記号(916/H31)



講談社エッセイ賞

『赤めだか』 立川談春 / 著 扶桑社 2008年

請求記号(779/Ta94)

2008年8月



紫式部文学賞

源氏物語宇治十帖の舞台となった宇治市のふるさと創生事業として市民のアイデアにより、平成3年度に誕生しました。前年に発表された女性作家による作品が対象となります。

『とげ抜き 新巢鴨地蔵縁起』 伊藤比呂美 / 著 講談社 2007年

請求記号(911.5/I89)



小林秀雄賞

文芸評論家の小林秀雄氏の生誕100年を記念し、平成14年度に創設されました。隔年で開催され、フィクション（小説・戯曲・詩歌等）は対象から除外されます。

『寡黙なる巨人』 多田富雄 / 著 集英社 2008年
請求記号 (914.6/T a 16)

2008年10月



日本翻訳文化賞

NPO法人日本翻訳家協会の創立10周年を記念し、昭和40年に創設されました。過去1年で最もすぐれた翻訳書を刊行した翻訳者に贈られる賞です。

『ロ - マの歴史』 全4巻
モムゼン / 著 長谷川博隆 / 訳 名古屋大学出版会 2008年
請求記号 (232/M o 24/1 ~ 4)

『ヴォルテ - ル書簡集 1704 - 1778』
ヴォルテ - ル / 著 高橋安光 / 編訳 法政大学出版局 2008年
請求記号 (135/V 88)



日本翻訳出版文化賞

NPO法人日本翻訳家協会により昭和41年に創設されました。過去1年で最もすぐれた翻訳書を刊行した出版社に贈られる賞です。

『動物生理学 環境への適応』 クヌ - ト・シュミット = ニ - ルセン / 著
沼田英治, 中嶋康裕 / 監訳 東京大学出版会 2007年
請求記号 (481/S c 5)

『中世歴史人類学試論 身体・祭儀・夢幻・時間』
ジャン・クロ - ド・シュミット / 著 渡辺昌美 / 訳 刀水書房 2008年
請求記号 (230.4/S c 5)